

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 特別企画 135万ダウンロードを突破するあの名曲がショートフィルムに！ AI『ハピネス』プロジェクト 作品募集スタート

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA)」(企画・運営: 株式会社パシフィックボイス 代表取締役社長 別所哲也)は、2012年9月3日(月)より、15回目となる2013年度の開催に向けた作品募集に伴い、AI(日本のシンガーソングライター)の楽曲『ハピネス』(株式会社EMIミュージック・ジャパン)を使用ショートフィルムを募集する、ミュージックShort部門※特別企画AI『ハピネス』プロジェクトを一般へ向けて応募開始しました。

http://www.shortshorts.org/2013_call_for_entry/ja/music_happiness.html

ミュージックShort部門とは

各レコード会社協力のもと、公式にエントリーされた楽曲をもとに、クリエイターが自由にショートフィルムを制作するSSFF & ASIA 2010よりスタートしたコンペティションです。クリエイターのイマジネーションにより音楽から映像が生まれる新感覚ムービーとしてショートフィルムファンはもちろん、各アーティスト、音楽業界関係者からも注目を浴びています。使用可能なエントリー楽曲数は100曲以上、大黒摩季、Superfly、土屋アンナ、クラムボンなど数多くのアーティストが楽曲を提供しています。(本部門締切は2013年1月15日まで)

AI「ハピネス」プロジェクト概要/応募方法

楽曲「ハピネス」を使用して「笑顔」「ハピネス」をテーマにショートフィルムを制作してください。エントリーされた作品はAI本人も審査に参加し、最も優秀な作品はAIオフィシャルウェブサイトで公開します。また、本映画祭のミュージックShort部門にもエントリーされます。

テーマ:「笑顔」/「ハピネス」

使用楽曲:『ハピネス』

楽曲全体の1/3以上を使用してください。

制作分数:10分以内(エンドロール含む)

募集期間:9月3日(月)～11月30日(金)(11月30日必着)

詳細はAI『ハピネス』プロジェクトWEBサイトを参照

AIからのメッセージ



このたび「ハピネス」をテーマにしたショートムービーを作っていただけるということで、あの歌詞を通じてどんな「ハピネス」な作品が生まれてくるのかとても楽しみです。みなさまからの応募をお待ちしております。

WEBサイトではAIからのビデオメッセージがご覧いただけます。

『ハピネス』とは

コカ・コーラ 2011 クリスマスキャンペーンソングとして制作されたこの曲は、「みんなが笑顔になればきっと世界はよくなる」と信じるAIのそのままの気持ちがギュッと詰まった作品。発売から半年以上たった現在でもチャートインを継続し、ダウンロードの累計は135万ダウンロードを突破。その好評に応える形で、今年の夏にはレゲエ調にリミックスされた「ハピネス - Reggae Summer Remix by Mighty Crown」も配信スタート。この冬、また新たな「ハピネス」を配信予定。

AIプロフィール

L.A.生まれ。鹿児島育ち。再び渡米し高校時代を過ごす。

ゴスペル・クワイアで鍛えた本格的な歌唱力にだけでなく、完璧なバイリンガルでこなすラップ・センス、アート・スクールで学んだダンス・アビリティなど、その多才さは各方面より高い評価を得ている。

2011年所属レーベルを移籍し、移籍第一弾シングル楽曲「ハピネス」は135万ダウンロードを超えるヒット。また「Letter In The Sky feat. The Jacksons」でイベント・楽曲双方でジャクソンズとの夢の共演を果たし、話題を集める。2012年2月22日に移籍後初のニューアルバム「INDEPENDENT」を発売した後、全国ツアー「AI「INDEPENDENT」TOUR 2012」が大盛況に終わる。2012年8月には自身二度目となるL.A.単独公演を成功させ、冬には本場USより聖歌隊を迎えてのクリスマスディナーショーを全国各地で開催。オフィシャルサイト <http://www.AImusic.tv/>

ミュージックShort部門ショートフィルムアプリのご紹介 www.shortshorts.org/app/



『ゆっきーな』(2010/監督:渡邊世紀)
楽曲:大黒摩季「あなただけ見つめてる」
出演:木下優樹菜、亀石征一郎



『ミステルロココ』(2010/監督:日高尚人)
楽曲:土屋アンナ「Brave vibration」
出演:佐津川愛美、猫ひろし



『皆既日食の午後』(2011/監督:常盤司郎)
楽曲:Superfly「Ah」
出演:濱田龍臣、新井浩文、南沢奈央、田口トモロヲ

■ SSFF & ASIA 2013 作品募集 各部門の紹介

▼日本人監督によるショートフィルムを作品を募集、そして米国アカデミー賞候補へ
「オフィシャルコンペティション ジャパン部門(米国アカデミー賞短編部門ノミネート選考対象部門)」
【賞金】 優秀賞 60万円 オーディエンスアワード 20万円 ※賞の名称、賞金等は変更の可能性があります

▼映像の力でメッセージを伝える！環境問題をテーマとした作品を募集
「地球を救え！部門」
【賞金】 優秀賞 60万円 オーディエンスアワード 20万円 ※賞の名称、賞金等は変更の可能性があります

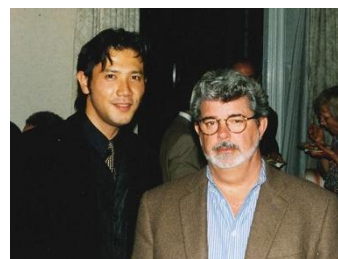
▼日本から世界に向けてCGクリエイターの才能発信を行なうべく設立
「CGアニメーション部門 supported by デジタルハリウッド」
【賞金】 優秀賞 60万円 オーディエンスアワード 20万円 ※賞の名称、賞金等は変更の可能性があります

▼音楽と映画の新しい形を創出する
「ミュージックShort部門」
【賞金】 優秀賞 30万円 ※賞の名称、賞金等は変更の可能性があります

■ SSFF & ASIAについて (www.shortshorts.org)

SSFF & ASIAは、新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優の別所哲也が、創立者として1999年に東京・原宿で誕生しました。初年度は映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。この度、SSFF & ASIAは、その前身でもある日本で初めてショートフィルムを紹介する短編映画祭「アメリカン・ショートショート フィルムフェスティバル」の開催日である6月4日を「ショートフィルムの日」に制定致しました。

2001年、「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定されました。また、同年には石原慎太郎東京都知事の発案により、アジア発の新しい映像文化の発信、新進若手映像作家の育成目的からショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF ASIA)を立ちあげ、現在はSSFFとSSFF ASIAという2つの映画祭が、「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)」として同時開催されており、アジア最大級の国際短編映画祭と成長しています。



1999年、アメリカ大使館にて行われたパーティーにて。(左:SSFF & ASIA代表の別所哲也、右:ジョージ・ルーカス監督)

映画祭が10周年を迎えた2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショートシアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ25万人を動員し、日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げています。

▼ 株式会社パシフィックボイス

「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」の運営を行う株式会社パシフィックボイスは、太平洋を越えて映像文化の交流がより盛んになることを応援する事業としてスタートしました。アジアの情報基地Tokyoと、映像産業の中心地Los Angelesに拠点を置き、ビジュアルコンテンツの未来の担い手として、世界をつなぐ事業を展開。また、俳優及びスポーツ選手・文化人を中心に、それぞれの個性を大切に育てるマネジメントを提供しています。
[\(http://www.pacvoice.com/\)](http://www.pacvoice.com/)

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

ショートショート実行委員会／ショートショート アジア実行委員会

<作品募集に関するお問い合わせ>
 TEL:03-5474-8844/FAX:03-5474-8202
submission@shortshorts.org

<本プレスリリースに関するお問い合わせ>
 担当:高橋 川村
 TEL:03-5474-8201/FAX:03-5474-8202
press@shortshorts.org